

第 66 回トキシシンポジウム プログラム

(Y: 若手奨励演題 O: 一般演題 C: 交流演題 S: 特別講演 I: 招待講演)

【9月11日(水) 第1日】

13:00 開場、受付開始

13:50～14:00 開会

実行委員長挨拶

事務連絡等

セッション 1 特別講演 14:00～15:00

座長：上田直子（崇城大学 薬学部 生化学研究室）

S-1 iPS 細胞技術を用いた中枢神経系の再生医療と疾患研究

岡野栄之 先生

慶應義塾大学・大学院医学研究科、慶應義塾大学医学部生理学

15:00～15:20 休憩

セッション 2 若手奨励演題 15:20～16:20

座長：清家総史（広島国際大学 薬学部 分子微生物科学教室）

15:20～15:40

Y-1 新規 Small Serum Protein (SSP) をコードする遺伝子の同定と SSP 遺伝子アレイの形成過程の考察

○稲丸賢人¹、千々岩崇仁¹、竹内亜美¹、前田真理恵¹、柴田弘紀²、服部正策³、大野素徳¹

¹崇城大学大学院 工学研究科 応用生命科学専攻、²九大 生医研、³東大 医科研

15:40～16:00

Y-2 細胞膨化致死毒素遺伝子陽性 *Providencia rustigianii* の病原性の解析

○畑中律敏¹、Hassan J.¹、Awasthi S.P.¹、名木田章²、元岡大佑³、中村昇太³、日根野谷淳¹、山崎伸二¹

¹大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医学専攻 獣医国際防疫学教室、²水島中央病院 小児科、³大阪大学微生物病研究所

16:00～16:20

Y-3 ヤエヤマサソリ毒液に存在する毒素由来部分ペプチドの活性評価

○堺祥一、岡部諒太、宮下正弘、中川好秋、宮川恒

京都大学大学院 農学研究科

16:20～16:30 休憩

セッション3 若手奨励演題 16:30~17:30

座長：小椋義俊（九州大学大学院 医学研究院 細菌学分野）

16:30~16:50

- Y-4 黄色ブドウ球菌 2 成分性 β バレル膜孔形成毒素における β バレル構築に関わる分子スイッチの探索

○武田慶胤¹、田中良和²、阿部直樹¹、金子淳¹

¹東北大学大学院 農学研究科、²東北大学大学院 生命科学研究科

16:50~17:10

- Y-5 ハブ毒液中のエクソソームは、毒の加速進化に関わっているのか？

○弓削多春貴¹、中村仁美²、上田直子²、柴田弘紀³、田中良和¹、小川智久¹

¹東北大学大学院 生命科学研究科、²崇城大学 薬学部、³九州大学 生体防御医学研究所

17:10~17:30

- Y-6 高速原子間力顕微鏡によるハブ毒液由来ホスホリパーゼ A₂ の脂質膜分解動態の観察

○角野歩^{1,2}、神谷孫斗³、上田直子⁴

¹金沢大学 ナノ生命科学研究科、²金沢大学 新学術創成研究機構、³金沢大学 自然科学研究科、⁴崇城大学 薬学部

17:30~ 事務連絡等

チェックイン、フリータイム

18:30~ 夕食

セッション4 交流演題 20:30~22:00

座長：中村仁美（崇城大学 薬学部 生化学研究室）

- C-1 リコンビナントボツリヌス HA の作製とアジュバント効果

○篠原弘樹¹、藤永由佳子²、鳥居恭司¹

¹東京農業大学大学院 農学研究科 畜産学専攻 動物衛生学研究室、²金沢大学 医薬保健研究域 医学系 細菌学

- C-2 サソリ毒の見過ごされた成分からの生理活性ペプチドの探索

○三谷直也、廣田光希、宮下正弘、中川好秋、宮川恒

京都大学大学院農学研究科

- C-3 クマササ含有成分および誘導体による LPS 作用の阻害

○Lin Yinzhi¹、深津仁見¹、小嶋しおり²、梅澤一夫¹、小出直樹²

¹愛知医科大学 医学部 分子標的医薬寄付講座、²愛知医科大学 医学部 感染・免疫学講座

- C-4 ヘビ毒 ADAM である VAP1 による細胞間接着解離機構の解明

○阿部美咲、荒木聡彦

名古屋大学 理学研究科 生命理学科専攻

- C-5 出血性ヘビ毒 ADAM である VAP1 による細胞間接着解離機構に関与する新規因子の探索

○瀬野日向子、荒木聡彦

名古屋大学 理学部 生命理学科 海洋発生生化学グループ

- C-6 サキシマハブ毒由来 SVMPs と血小板インテグリン $\alpha\text{IIb}\beta 3$ との分子間相互性
○大山悦子
明治薬科大学 薬学部 衛生化学研究室
- C-7 *Aeromonas* 属菌 Biofilm の性状解析
○清家総史¹、小林秀丈¹、高橋栄造²、岡本敬の介²、山中浩泰¹
¹広島国際大学 薬学部 分子微生物科学教室、²岡山大学 インド感染症共同研究センター
- C-8 ウエルシュ菌 α 毒素による宿主免疫応答の活性化
○竹原正也、小林敬子、永浜政博
徳島文理大学 薬学部 微生物学教室
- C-9 抗菌ペプチド LL-37 は好中球からの細胞外小胞の放出を介してマウス敗血症を改善する
熊谷由美、村上泰介、○長岡功
順天堂大学 医学部 生化学・生体防御学
- C-10 ボツリヌス HA はどのようにしてアドヘレンスジャンクションへたどり着くのか
○阿松 翔^{1,2}、藤永由佳子¹
¹金沢大学医薬保健研究域 細菌学、²法医学
- 22:00 第1日目プログラム終了

【9月12日（木）第2日】

8:00 開場

セッション5 一般演題 8:30～10:00

座長：松本拓也（県立広島大学 生命環境学部 水圏生体機能学）

8:30～9:00

O-1 ボルデテラ壊死毒 (DNT) の受容体同定を通じた百日咳病態の解析

○照屋志帆乃¹、平松征洋¹、篠田典子¹、塚本健太郎²、中村佳司¹、石垣佳祐¹、堀口安彦¹

¹大阪大・微研・分子細菌学、²藤田医大・医・微生物

9:00～9:30

O-2 分子シミュレーションで見る毒の作用機序：海綿由来毒ポリセオナミドの細胞膜への挿入

○炭竈享司¹、Mahroof Kalathingal²、老木成稔³、斉藤真司²

¹金沢大、²分子研、³福井大

9:30～10:00

O-3 マルモンツチスガリ (*Cerceris japonica*) の毒液成分に関する研究

○稲垣英利、谷直紀、紺野勝弘

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

10:00～10:15 休憩

セッション6 一般演題 10:15～11:45

座長：塚本健太郎（藤田医科大学 医学部 微生物学講座）

10:15～10:45

O-4 腸管出血性大腸菌の志賀毒素産生における酸素の影響

○清水健¹、大貫真奈美¹、松本明郎²

¹千葉大学大学院 医学研究院、²東邦大学 医学部

10:45～11:15

O-5 インドコルカタ市の環境水から分離された病原性 *Vibrio cholerae* の性状解析

○高橋栄造¹、Goutam Chowdhury²、Asish K. Mukhopadhyay²、三好伸一³、岡本敬の介¹

¹岡山大学 インド感染症共同研究センター、² National Institute of Cholera and Enteric Diseases、³岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 薬学系

11:15～11:45

O-6 ゲノムから見た大腸菌病原因子の真の役割

○小椋義俊、有水遥子、林哲也

九州大学大学院 医学研究院 細菌学分野

11:45～16:00 昼食（運営委員会）、フリータイム（エクスカーション）

16:00～16:30 総会

セッション7 招待講演 16:30～18:40

座長：上田直子（崇城大学 薬学部 生化学研究室）

16:30～17:30

I-1 遺伝子発現を制御する機能性RNA –その特徴と医療応用の可能性–

北條浩彦 先生

国立精神・神経医療研究センター 神経薬理研究部

17:30～17:40 休憩

17:40～18:40

I-2 Wingless の apico-basal トランスサイトosis とユビキチンリガーゼ Godzilla による制御

山崎泰男 先生

国立循環器病研究センター 分子病態部

18:40 第2日目プログラム終了

19:00～21:00 夕食（懇親会）

【9月13日（金）第3日】

8:30 開場

セッション8 一般演題 9:00～11:15

座長：稲垣英利（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）

9:00～9:25

O-7 ハブ Small serum protein (SSP) 遺伝子群列の特徴的な構造と構成、進化

○千々岩崇仁¹、稲丸賢人¹、竹内亜美¹、前田真理恵¹、山口和晃¹、柴田弘紀²、服部正策³、上田直子⁴、大野素徳¹

¹崇城大学 生物生命学部、²九州大学 生体防御医学研究所、³東京大学 医科学研究所、⁴崇城大学 薬学部

9:25～9:55

O-8 *Streptococcus intermedius* が分泌する病原因子の特性解析

○友安俊文¹、冨永明子²、出口真理²、有本江里³、田端厚之¹、高尾亜由子⁴、前田伸子⁴、長宗秀明¹

¹徳島大院・社会産業理工学・生物資源産業学、²徳島大院・先端技術科学教育・生命テクノサイエンス、³徳島大・工・生物工、⁴鶴見大・歯・口腔微生物

9:55～10:15 休憩

10:15～10:45

O-9 ハブベノミクス研究から明らかになった毒タンパク質の多様化機構と新規機能

○小川智久¹、長内宏典¹、上田直子²、久田香奈子³、中村仁美²、千々岩崇仁⁴、服部正策⁵、磯本明子⁶、山崎真一⁷、服巻保幸⁶、大野素徳⁴、佐藤矩行³、柴田弘紀⁶

¹東北大学・院生命、²崇城大学・薬学、³OIST・マリンゲノミクス、⁴崇城大学・生命、⁵東大医科研、⁶九大・生医研、⁷OIST・DNA シーケンス

10:45～11:15

O-10 バルトネラ属細菌が産生する新規血管新生促進因子の同定

○塚本健太郎¹、河合聡人¹、鈴木匡弘¹、堀口安彦²、土井洋平¹

¹藤田医科大学 医学部 微生物学講座、²大阪大学微生物病研究所 分子細菌学分野

11:15 第3日目プログラム終了

11:15～11:20 実行委員長閉会の挨拶
閉会